

タイムテーブル

会場 可児市文化創造センター ala・映像シアター

	10月30日 金	10月31日 土	11月1日 日
10:00	104歳、哲代さんのひとり暮らし 字 10:00 - 11:34	薬の神じゃない! 10:00 - 11:57	ロボット・ドリームズ 10:00 - 11:42
14:00	お終活 再春! 人生ラブソディ 字 14:00 - 15:58	兄を持ち運べるサイズに 14:00 - 16:07	風のマジム 字 14:00 - 15:45

来場者特典配布
エンディングノート
(令和8年可児市発行)

字 バリアフリー日本語字幕付き上映

バリアフリー日本語字幕付き上映とは、高齢者や聴覚に障がいのある人のために、セリフや音など耳から得る情報を字幕にして補足するものです。

※スケジュールや内容は、都合により変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

ゲストトーク

(上映後 約40分)



「兄を持ち運べるサイズに」
中野量太 監督



プロフィール

1973年生、京都市。大学卒業後、日本映画学校に入学し三年間映画作りの面白さに浸る。
2012年、自主長編映画「チチを撮りに」が、SKIPシティ国際Dシネマ映画祭で監督賞を受賞、ベルリン国際映画祭に招待され、国内外で14冠。2016年、商業デビュー作「湯を沸かすほどの熱い愛」が、日本アカデミー賞・最優秀主演女優賞、最優秀助演女優賞など6部門受賞、国内映画賞で35冠、米アカデミー賞外国語映画部門の日本代表に選ばれる。
2019年、初の原作モノとなる「長いお別れ」が、ロングランヒットに。2020年、「浅田家!」が、日本アカデミー賞・最優秀助演女優賞など8部門受賞。フランスで観客動員25万人を超えるヒットに。以降、2025年、「兄を持ち運べるサイズに」と、最新作「私はあなたを知らない、」(2026年8月28日公開)は、フランスとの合作に。独自の感性と視点で、家族を描き続けている。

※未就学児の入場はご遠慮ください。※劇場内での飲食はお断りいたします。※上映中は携帯電話の電源をお切りください。※土日は駐車場が混みあう場合があります。お早めにお越しください。

■ チケット取り扱い

可児市文化創造センターala インフォメーション

Tel.0574-60-3050

9:00~19:00

火曜休館/祝日の場合は開館・翌平日休み

web
ページ



■ お問い合わせ

可児市文化創造センター ala

〒509-0203

岐阜県可児市下恵土3433-139

Tel.0574-60-3311 (9:00~22:30/火曜休館/祝日の場合は開館・翌平日休み)



アール映画祭2026

ala film festival

会いにゆこう、心ゆさぶる映画たちに

2026年10月30日 金 ~ 11月1日 日

可児市文化創造センター ala・映像シアター

10月30日 金

104歳、哲代さんのひとり暮らし



©「104歳、哲代さんのひとり暮らし」製作委員会

お終活 再春! 人生ラブソディ



©2024「お終活 再春!」製作委員会

10月31日 土

薬の神じゃない!



©2020 Cine-C. and United Smiles Co., Ltd. All Rights Reserved

兄を持ち運べるサイズに



©2025「兄を持ち運べるサイズに」製作委員会

11月1日 日

ロボット・ドリームズ



©2023 Arcadia Motion Pictures S.L., Lokiz Films A.I.E., Noodles Production SARL, Les Films du Worso SARL

風のマジム



©2025 映画「風のマジム」



チケット発売日 ▶ 8月22日 土 9:00~

※電話予約は翌23日(日)9:00~

一般:1,000円/25歳以下:500円

全席
指定

映画部
litlink



アール映画部



主催:アール映画部、(公財)可児市文化芸術振興財団



おーラ映画祭2026

上映作品

104歳、哲代さんのひとり暮らし

2024年／日本／94分



©「104歳、哲代さんのひとり暮らし」製作委員会

監督：山本和宏
出演：石井哲代
ナレーション：リリー・フランキー

10月30日 金

10:00～

あらすじ

広島県尾道市に暮らす石井哲代さんは、100歳を超えても姪や地域の人と助け合いながらひとり暮らしを続けている。よく食べよく笑いよく喋る。年齢を重ねてもユーモアを忘れずに自分らしく生きる哲代さんの日常を3年にわたって追ったドキュメンタリー。

映画部員コメント

哲代さんの周りはいつも笑顔が溢れています。いつになっても人生を楽しむヒントがこの映画にたくさん散りばめられています。そんな哲代さんは今年の3月に尾道市の上映会に登壇し冗談を言って会場を沸かせ、4月には106歳を迎えました。太陽のような哲代さんの笑顔ぜひ観に来てください。(織部)

薬の神じゃない！

2018年／中国／117分／日本語字幕版



©2020 Cine-C. and United Smiles Co., Ltd. All Rights Reserved

監督：ウェン・ムーイ
出演：シュー・ジェン、ワン・チュエンジュン ほか

10月31日 土

10:00～

あらすじ

白血病の治療薬が高額で買えない患者の為に、小さな薬屋の店主であるチョン・ヨンはインドから安価なジェネリック薬を密輸する。最初は金儲け目的だったが、いのちの瀬戸際に立つ患者たちの悲痛な現実に触れ、自らの危険を顧みず「薬の神」として奔走していく。

映画部員コメント

希望のない毎日を送る主人公。最初は金儲けのため安価な薬の密輸を始めるが、仲間の死をきっかけに今度は真に貪しい患者を救うために密輸を再開する。そのことで自身も生きている存在意義を見出していく。そして白血病患者にとって「薬の神」という存在に変わっていく。その思いが伝わる心揺さぶられるラストシーンである。(稲垣)

ロボット・ドリームズ

2023年／スペイン・フランス／102分



©2023 Arcadia Motion Pictures S.L., Lokis Films A.I.E., Noodles Production SARL, Les Films du Worso SARL

監督：パブロ・ベルヘル

11月1日 日

10:00～

あらすじ

1980年代、ニューヨークで独り暮らしをしているドッグは、その孤独を埋めるためにテレビCMで見たロボットを購入する。2人は生活を共にし、街を歩いたりセントラルパークでローラースケートをしたりと次第に友情を深めていく。しかし、夏の終わりに訪れた海水浴場で予想もしない出来事が待っていた…。第51回アニー賞長編インディペンデント作品賞を受賞。

映画部員コメント

かわいい絵柄のアニメーションですが、観る人の年代や経験によって感想は様々になるのではないかと思います。80年代を知る人には懐かしい小ネタも満載。セリフが一切ないので、聴覚に障がいのある方や日本語が苦手な方でも鑑賞できるバリアフリー作品です。アース・ウインド&ファイアの「セプテンバー」に乗せて、ドッグとロボットと一緒に心の旅をしませんか？(春山)

お終活 再春！人生ラブソディ

2024年／日本／118分



©2024「お終活 再春！人生ラブソディ」製作委員会

監督：香月秀之
出演：高畑淳子、橋爪功、剛力彩芽、松下由樹 ほか

10月30日 金

14:00～

あらすじ

結婚50年の金婚式を迎えた夫婦の一人娘は恋人との結婚も目前に控えている。順風満帆な一家だったが、ある日、夫に認知症の疑惑が持ち上がる。その一方で、妻は若い頃に習っていたシャンソンをあるきっかけで、再びレッスンに通い始める。そして知人からコンサート出演を勧められて張り切る妻だったが、コンサート目前に開催が危うくなる…

映画部員コメント

タイトルにあるように、終活は、人生を終える準備だけで無く、若い頃やり残った事に再挑戦する機会ととらえている。妻がシャンソンを習い始めたり、夫は、やり残った野球の監督を草野球で実現する姿などを、ユーモアたっぷりに描いているので、終活世代だけでなく、若い人にも楽しく観て頂ける作品になっていると思います。(谷山)

兄を持ち運べるサイズに

2025年／日本／127分



©2025「兄を持ち運べるサイズに」製作委員会

監督：中野量太
出演：柴咲コウ、満島ひかり、オダギリジョー ほか

10月31日 土

14:00～



あらすじ

疎遠になっていた兄が亡くなったという知らせを、主人公はある日突然、警察からの電話で受ける。彼女は兄の遺体を「持ち運べるサイズ」にし、その後始末を進める中で、これまで知らなかった兄の暮らしや人となり少しずつ明らかになっていく。そしてその過程で、兄に抱いていた思いや新たな一面を発見する。村井理子さんのエッセイ「兄の終い」の映画化。

映画部員コメント

ふらふらしている兄を演じたオダギリジョーがはまり役です。また、子役二人の自然な演技がとても素晴らしいです。兄の息子が父を思い出すシーンは、ここ数年で一番感動しました。思い出だけでもこみ上げるものがあります。ぜひ劇場でご覧ください。笑って最後にホロッときます。(富岡)

風のマジム

2025年／日本／105分



©2025 映画「風のマジム」

監督：芳賀薫
出演：伊藤沙莉、染谷将太、滝藤賢一 ほか

11月1日 日

14:00～

あらすじ

那覇の豆腐店を営む祖母・母と暮らす伊波まじむ。偶然出会ったラム酒の美味しさに衝撃を受ける。まじむは南大東島のさとうきびを使ったラム酒作りを思い立ち、社内ベンチャーに応募。そのひたむきな挑戦は、やがて家族や会社、そして島全体を巻き込む一大プロジェクトへと発展していく。実話に基づく感動の物語。

映画部員コメント

地元の素材で新商品開発に挑む姿を描いた本作は、夢を追うことの尊さと泥臭さを等身大の視点で綴っています。失敗しても立ち上がり、地域への愛を情熱に変えていく主人公の奮闘には多くの働く人が勇気をもらえるはずです。沖縄の風を感じながら、明日への活力を充電できる素敵な物語です。ラム酒で乾杯！(古川)